

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 夕張川下流地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「各市町田園環境整備マスタープラン」「長沼町農村環境計画」より）

【現状】

岩見沢市 岩見沢市は、東部の夕張川山地と連なる山地から、西部の石狩川左岸に広がる低平地にいたるまで、多様な自然に恵まれているため、そこに生息する動物や植物の種類も豊富である。

江別市 石狩川と野幌原始林とともに豊かな自然の恵みをもたらし、市民の心のよりどころとしての役割を果たしている。一方、災害のほとんどが石狩川を始めとする河川の氾濫による。

南幌町 千歳川、夕張川、旧夕張川に囲まれた、標高5.5～17.0m平坦な地勢にあり、長雨や集中豪雨により被害をうけることもある。自然生物は、土地の大半が水田であり、河川と防風林に囲まれた水田の二次自然環境に生息する生物種が多い。

由仁町 中央部の由仁安平低平地には二次的自然としての水田などが広がり、自然の宝庫の馬追丘陵など自然やそれらが織りなす景観に恵まれた地域である。

長沼町 丘陵部、平地部、河川などに様々な植物が生育しており、馬追丘陵の山林、平地部の耕地防風林・河畔林・並木・丘陵地及び市街地に転座する公園など、町内全域にわたって緑地帯が大きく広がっている。

【課題】

岩見沢市 河川整備等により、かつて見られた魚類が減少しており、環境に配慮した水辺環境の整備が重要である。

江別市 自然環境は豊富であり、動植物の保護・保全に努め、水や緑などの景観を有効に市民生活に取り組みることが課題である。

南幌町 水田と防風林によって構成されている豊かな環境の充実も課題となっている。

由仁町 森林に囲まれた湿地には、虫も生息している。しかし、親水性に乏しいことから、水に親しむ機会の整備が課題となっている。

長沼町 近年、外来動物が全町的に見られるようになっており、農作物への被害が生じるとともに、生態系への影響が懸念される。

《環境保全の基本的考え方》（「各市町田園環境整備マスタープラン」「長沼町農村環境計画」より）

岩見沢市 山地から湖沼に至る恵まれた自然環境とそこに生息する多様な生物を総合的に保全するため、自然環境に配慮した整備を行う。

江別市 防風林・保安林の保全のために適正な管理を図ると共に河川などの自然に配慮した河川環境の保全に努める。

南幌町 湖水、河川、運河などの水辺は、治水や利水機能に留意しながら、緑あふれる空間として、更に、人と自然が出会える空間として、保全及び整備をはかり、多様な生物が生息する豊かな生息場所とする。

由仁町 自然を「街の自然」「身近な自然」「原生の自然」に区分して位置付け、それぞれに相応した保全と育成を図る。

長沼町 残された緑の保全・回復に努めるとともに、生物の生息の拠点となる、ため池、河川・水路などのネットワーク化を図るなど、水と緑のネットワークの保全と創出に努める。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

○調査位置の考え方

本地区における整備対象施設の周辺環境は、防風林エリアと河川エリアに分けられる。このため、それぞれの環境における代表地点にて調査位置を決定する。

○調査項目の考え方

既往調査結果を活用するとともに、本事業で想定している整備により、生息・生育環境に直接影響を与えることが想定される各区域において、既往調査が不足している項目に対し、現地調査を実施する。

《環境調査内容》

○調査項目 ①鳥類 ②魚類、③両生類・は虫類 ④底生動物、⑤植物 ⑥水質

○調査方法

鳥	類	：	ポイントセンサス法
魚	類	：	採捕調査
両生類・は虫類	：	：	目撃法
底生動物	：	：	定性採集法
植	物	：	植物相調査
水	質	：	SS、濁度